

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15.3.24			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8218
担当部課名	財務部	管財	課	管財 係
事務事業名	市有財産維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市市有財産条例、相模原市市有財産条例施行規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
公有財産のうち、普通財産は特定の利用目的を有さない、いわば私的財産であることから、次のことを目的に必要な維持管理を行っている。 1 市有財産(一部行政財産を含む)についての適正管理、安全性の確保、景観の維持。 2 市有財産のうち直接行政目的に供することのない普通財産については、資産の有効な管理運用を行い、そこから生じる収益を行政需要に反映させる。	管財課所管の普通財産 対象数 18件(面積17,930.24㎡)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1 行政財産の維持管理(建物損害共済保険等) 成果指標、活動指標には含まれない事業 火災保険 21,460千円、施設賠償保険 20千円 下水道受益者負担金 3,416千円	
2 普通財産の市及び地域利用(倉庫等)	
3 未利用市有地の売却 中央5丁目4951-17 661.00㎡ 売却金額 83,300千円 等	
4 普通財産の貸付 富士見6丁目5334-2 約6,400㎡ 貸付料 22,448千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	普通財産(土地)の利用率	現在活用中(貸付等)の普通財産土地面積÷保有する普通財産土地面積*100	管財課が保有している普通財産が、有効に活用されているかをみる	96	90	91	100	100
	普通財産(土地)の処分率	売却処分した普通財産土地面積÷売却予定普通財産土地面積*100	未利用の普通財産の処分の成果をみる	100	100	105	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	4人	4人	4人	4人	4人
	人件費	33,560	33,560	33,560	33,560	33,560
	その他経費					
	合計	68,557	70,998	65,505	61,188	61,188
	特定財源					
	対象数	14,768	13,048	17,930	15,928	15,352
	対象の単位あたり経費	4.6	5.4	3.7	3.8	4.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	未利用地の売却がはかどり、予想以上の成果である。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市有財産については、市民が共有する財産であり、行政サービスを円滑に提供するうえにも、財産の適正な維持管理は必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	財政困難な折に、財産を有効活用し、不要な財産を処分していくことが、歳入確保につながる。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	維持管理費の主な支出は、市有建物の損害保険が殆どで、必要最低限の支出にとどめている。
(5)公平性 評価 ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 未利用の普通財産(土地)処分を積極的に推進する。	手段	未利用の普通財産(土地)の処分を進めていく。
		削減額	無 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 行政財産、普通財産の維持管理をするうえで、必要最低限の予算で取り組みをしている。今年度の評価は、14年度中に売却がはかどり成果が得られたものであるが、普通財産の利用形態が暫定的なものが多く含まれており、今後も有効活用策を検討し、将来において継続して保有する必要性がないと決定したのから、順次処分を進めていく。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--